

ありだし 社協 だより



2026



小学校6年生児童代表が
毎号将来の夢を発信！
10年後、成長した姿を
地域の皆さんに発信します！



港小学校 6年生



将来の夢

初島小学校 6年生



『被災地で介護サービス事業者が辿った道のり』

高齢化率が37%を超える有田市では介護サービス事業者が要介護(支援)高齢者等の暮らしの一端を支えています。もし、災害が起こると、そのサービス提供は一体どうなるのでしょうか。

令和6年能登半島地震の発災直後から現地に入り、災害ケースマネジメントに従事してきた講師から、事例を通して学ぶ機会をつくりました。南海トラフ想定地域で働く福祉専門職としてできることを共に考えましょう。

日時 令和8年 **10月16日(金)**
13:30~15:00

会場 有田市消防本部5階多目的ホール
(有田市箕島47)

【お申込先】
有田市社会福祉協議会
TEL 0737-88-2750
(平日 8:30~17:15)
又は申込フォームを
ご確認の上お申込ください



講師

特定非営利活動法人YNF

代表理事 江崎 太郎 氏

(講師紹介)

2005年早稲田大学法学部卒業。民間企業を経て、被災者支援活動に関わる。2017年特定非営利活動法人YNFを設立し、代表に就任。以降、「災害ケースマネジメント」という一人ひとりの事情に合わせた支援手法を活用し、支援を行う。現在は石川県珠洲市で生活再建支援を実施中。



主催
有田市社会福祉協議会
特定非営利活動法人 ワンファミリー仙台
特定非営利活動法人 YNF

共催
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)
有田市地域包括支援センター

防災も有田のみんなでかんがえる会議

孤立が危惧される有田市でどう助け合うかー被災地からの教訓ー
～地域協働型災害ボランティアセンターが求められる背景～

多発する水害や地震災害を報道で見るたび、いつかは有田市にも南海トラフ巨大地震が来るかも知れないという漠然とした不安があるかと思います。まずは生き抜くことが最優先ですが、その後ふだんの暮らしを取り戻すためには、たくさんの力が必要となります。これまでの被災地での住民の姿を教訓に有田市らしい助け合いについて考えてみませんか？

日時 令和8年 **10月31日(土)**
10:00~11:30

会場 有田市福祉館なごみ
(宮原町東215番地)

【お申込先】
有田市社会福祉協議会
TEL 0737-88-2750
(平日 8:30~17:15)
又は申込フォームを
ご確認の上
お申込ください



講師

にいがた災害ボランティア

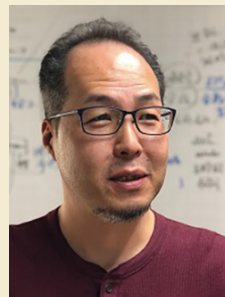
ネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

(講師紹介)

自身の被災経験から現所属において活動を始める。また、「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」通称『支援P』※の統括として各地の災害ボランティアセンターの支援を行っている。令和6年能登半島地震、令和8年熊本地震においても活動。

※平成16年新潟中越地震発生直後、経団連、日本NPOセンター、全国社会福祉協議会、東京ボランティア・市民活動センター、日本赤十字社、中央共同募金会等の協議で立ち上がった組織。



有田市が被災してしまったとき、
あなたの得意を活かして一緒に被災住民を支えてくれませんか？

地域協働型

災害ボランティアセンター

運営スタッフ養成研修のご案内

有田市では、災害が発生後、有田市との協議を経て、住民の皆さんへの支援が必要と判断された場合は、有田市社会福祉協議会が「災害ボランティアセンター」を設置運営することが決まっています。

災害ボランティアセンターは、被災によって起こるさまざまな困りごとをお聴きし、被災住民の生活復興のために必要な活動をボランティアと共に支援していきます。

地域協働型災害ボランティアセンターとは・・・

有田市社会福祉協議会は常勤職員数が12人という小さな組織です。災害の規模にもよりますが、災害ボランティアセンターの運営を考えると、とても社協職員だけでは運営が難しいだろうと考えています。

また、社協職員は普段から地域のサロンや相談支援で住民の皆さんとの関係をつくっていますが、全域をくまなく網羅するのはなかなかできません。災害時に何より必要になるのは、被災した方に寄り添い、道が分かる・人の顔が浮かぶなど地元の情報がよく分かる住民のチカラです。

そのため、平時から住民の方が災害ボランティアセンターの役割や仕組みを知っていただき、いざという時に一緒に活動していただける社協の仲間になっていただきたいと考えています。

研修の対象

地域防災に関心のある方、防災士、住民自治に携わっている方 など
有田市社協と災害支援協定を結んでいる団体の会員
※原則、3回とも受講できる方
(都合により限定受講も可能です)

会 場

有田市福祉館なごみ(宮原町東215番地)



(昨年度の様子)
有田市の実情について
課題と可能性を協議し
イメージを膨らませました。

研修日程と内容

1	10月31日	講師	にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 氏
	10:00-12:00	講演会 ※防災有田みかん会議を視聴する形態	孤立が危惧される有田市でどう助け合うか 被災地からの教訓～地域協働型災害ボランティアセンターが求められる背景～
	13:00-15:30	講義と演習	災害ボランティアセンターの仕組みと役割
2	11月14日	講師	和歌山県災害福祉支援センター 南出 考 氏
	9:30-11:30	講義と演習	被災者の心情・協働とは 復興に向けて
3	12月5日	講師	和歌山県災害福祉支援センター 南出 考 氏
	9:00-12:00	講義と演習	災害ボランティアセンター運営シミュレーション
	13:00-15:30	訓練	設営とボランティア受入訓練

※受講された方には、有田市災害ボランティアにご登録いただき、防災研修等のご案内をさせていただきます。

令和 8 年度

赤い羽根共同募金



皆様のあたたかい
ご協力を
お願いいたします

今年も「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに、赤い羽根共同募金運動が10月1日から始まります。この運動は、民間の社会福祉事業を支援するための募金として「社会福祉法」に位置づけられ、全国一斉に展開されます。

和歌山県内で寄せられた募金は、県共同募金会を通じ、高齢者、障がい児者、子どもたちへの福祉活動のほか、様々な福祉課題に取り組むボランティア活動等、社会福祉事業の貴重な財源となっています。

有田市では、高齢者の生きがい作りや健康増進の活動、保育所・幼稚園での鑑賞会、福祉教育、ボランティア活動の推進等、地域の身近な活動に使用させていただいています。

皆様のご支援とあたたかいご協力をお願いいたします。

有田市共同募金委員会
(有田市社会福祉協議会内)

「令和 8 年熊本地震義援金」の募集について



このたびの災害により被災された皆様に、心よりお見舞い申しあげます。7月28日に発生した熊本地震で被災された方々を支援するため、共同募金会では義援金を募集しています。皆さまから寄せいただいた義援金は、熊本県共同募金会で取りまとめられ、設置される配分委員会において配分額を決定し、被災地の市町村を通じて被災された方々へ配分されます。

有田市社会福祉協議会の窓口でもお預かりしています。本会から、熊本県共同募金会に送金いたします。

共同募金会	金融機関	口座番号等	口座名義
熊本県	ゆうちょ銀行	00950-6-326682	熊本県共募 令和 8 年熊本地震災害義援金

※ ゆうちょ銀行の窓口での振込手数料は無料となります。

※ 募集期間は延長される可能性があります。



令和8年度

社会福祉協議会主催

第2回 グラウンドゴルフ大会

のお知らせ

赤い羽根共同募金配分金事業として、グラウンドゴルフ大会を行います。

たくさんのご参加を
お待ちしております。

日 時：令和 8 年 9 月 3 0 日(水) 午前 9 時 3 0 分より
(雨天の場合は 1 0 月 2 0 日(火)に延期します。)
場 所：えみくるドーム(屋根付き多目的ひろば)
対象者：有田市在住の概ね 6 0 才以上の方
申込み：9 月 2 4 日(木)までに、本会あて氏名、性別、生年月日、
電話番号を電話にて申込お願いします。

※開催について、中止又は延期することがあります。
その場合は、本会ホームページ上で告知しますのでご確認ください。

